



京都市学校歴史 博物館だより

VOL.
14

平成18年9月発行



正門、右側は、国登録文化財

企画展

おもしろおすなあ 京の町

～美術工芸品にみる京のあちこち京のあれこれ～

当館では、学制発布に先駆けて明治2年に創設された番組小学校から今日までの京都の教育や学校の歴史を紹介する常設展示と共に、さまざまな企画展を開催し、作家や学区の人々の厚意によって京都市立学校に伝わる多くの美術工芸品を紹介してきました。

この企画展では、京都市の子どもたちを取り巻く環境に目を向けました。美術工芸品のモチーフとなった、山紫水明の地・京都市の風光明媚な自然、風情のある街の風景、四季折々の多彩な行事、歴史と文化をにう人々の姿などをご覧いただけます。学校以外の施設からも協力を得た65点以上の作品を通して、いろいろな角度から京都の魅力を再発見していただけるものと思います。



伏見人形を売る店 徳力富吉郎 楊梅幼稚園蔵



野々宮 宇田萩郎 京都市立芸術大学芸術資料館蔵

● 出品作品 会期中展示替えがあります

北山杉 依岡慶樹 元 開智小学校蔵
 縁日の東寺 河合健二 元 有済小学校蔵
 祇園祭 猪田七郎 銅駝美術工芸高等学校蔵
 壬生狂言 上村松篁 京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)
 洛北の秋 武藤彰 京都市美術館蔵
 清水寺秋景 川端弥之助 京都市立芸術大学芸術資料館蔵
 京のわらべうた屏風 島田雨城 京都市学校歴史博物館蔵

ほか



花(白川女) 藤田高日子 元 西陣小学校蔵

● 開催期間

平成18年9月29日(金)～12月4日(月)
 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 水曜日

● 特別講演会

11月12日(日) 14:00～15:30
 『徳力富吉郎を語る』 京都版画館 徳力淑子氏
 電話申し込み(先着70名)

開館しました

第4展示室（開智教育資料室）

この展示室は、元京都市立開智小学校に遺された資料を見ていただくことによって、京都の番組小学校の開校から統合による閉校までの変遷と、明治の学校創設の精神が京都の教育の伝統として今も息づいていることを理解していただく部屋です。



昭和三十年の校舎の改築とともに新しい給食室ができ、健康教育推進の一環として給食指導の充実が図られた。学校給食を楽しく進めるためにというテーマで研究が進められ発表後に冊子にまとめられた。これにより、全国給食研究大会にて文部大臣表彰を受けた。



「開智小学校の給食風景」 昭和30年代

(上) 写真パネル「開智幼稚園で歓迎される青い目の人形」

昭和2年春、日米親善の使節団として日本各地にアメリカ人形が来日し、京都でも京都駅まで子どもたちが出迎え、岡崎の京都市公会堂で歓迎式が開かれた。その後、各幼稚園や小学校でも歓迎会が開催された。

(左) 写真パネル「明治41年撮影の開智校」

明治37年に設置した遊書針のある大屋根に「十三」の鬼瓦（下京第11番組小学校として開校した開智校は明治5年に下京第13区小学校となった）、軒先に棟の裏のかたちの留蓋瓦がみえる。これは校舎増築のために資金集めなど奔走した開智学区の建築委員たちの記念写真。

展示品リスト（抜粋）

実物

- 「地子免除状」明治3年
- 「蔵書印」大正4年
- 「舟形衝立」
- 「玄關の懸魚」
- 「開智消防分団の絡車」

画

- 「最初の首座教員森九郎助肖像画」（複製）
- 「開智伝説絵巻」
- 校名扁額
- 「開智」明治34年

簿冊

- 「官令綴」明治6年～明治14年
- 「小試験簿」明治12年～14年
- 「大試験簿」明治15年～19年
- 「中試験簿」明治15年
- 「尋常小学校経費収支簿」明治22年～23年
- 「簡易女学校経費収支簿」明治22年
- 「幼稚保育科経費収支簿」明治22年
- 「京都市開智尋常高等小学校教訓」明治40年

写真パネル

- 「明治41年撮影の開智校」
- 「幼稚園児集合写真」昭和19年
- 「青い目の人形を京都駅までお出迎え」昭和2年
- 「開智小学校の給食風景」昭和30年代
- 「最後の運動会」平成3年

他

京都 ＊ 学校物語

京都は、明治2年に日本で最初の学区制小学校である「番組小学校」が先人の英知と努力と浄財により64校が創設・運営されました。明治維新後の衰微した京都の復興のため、都市基盤整備や輸業政策などの様々な近代化政策が全国に先駆けて実施されました。中でも特に力を注いだのが教育の基盤整備で、「地域の子どもは地域で育てる」との信念の下、当時の地域住民は知恵と浄財を出し合い、学校の創設・運営を支えました。

この度、番組小学校の設立経過と歴史的意義を後世に伝える京都市学校歴史博物館から、この「龍金の精神」が京都の教育の伝統として今も息づいていることを全国に発信するため、『京都・学校物語』を発刊いたしました。

京都市教育委員会、京都市学校歴史博物館編 A5版、96ページ 価格 600円

<内容>

第1章 番組小学校の誕生とその後の歴史

～学校設立の経緯とその歴史的意義～

- 1 番組小学校誕生前史 2 番組小学校の誕生 3 受け継がれる番組小学校の精神

第2章 「京都学校記」（福澤諭吉著）

- 1 現代語訳 2 原文

第3章 番組小学校に関する記録



郵送での購入をご希望の方は

- ①郵便小為替600円分と、②返信用封筒（角5サイズ）に郵便番号・住所・氏名を明記し、切手240円を貼つたものを同封して、下記の宛先までお申し込みください。
- 〒600-8044京都市下京区御幸町通弘光寺下町4/37 京都市学校歴史博物館

報告！夏休み子ども体験教室 京都市学校歴史博物館では、市民の生涯学習や児童生徒の学習活動の一助として、「市民参加・体験事業」を行っております。8月は子ども対象事業を4講座実施致しました。



子ども工作教室
「おもちゃの手作り教室」
8/5 (土)・8/26 (土)
身近な材料を使って動くおもちゃを作りました。
低学年：紙コップびよん太
中学年：ハンデイン形
高学年：トントコ、トントコ

昔の学校とくらしについて調べよう！

8/10 (木) 午前・午後
8/11 (金) 午前・午後
京都に学校ができた頃のことを調べたり、昔の暮らしを体験したりしました。



にほん画に挑戦！
8/6 (日)
基本：野菜を塗こう！
日本画の画材や筆の使い方を教わりました。
8/13 (日)
発展：生き物を塗こう！
金魚をモチーフにして、うちわに作品を仕上げました。

明治の小学校「書写教室」

8/19 (土)
明治時代の書写教本『千字文』をお手本に書道を体験しました。



募集中心！

平成18年10月・11月・12月の講座

①講演会

上村淳之館長談話室

- 日時/10月24日(火)・11月21日(火)・12月19日(火)
午後2時～3時 *11月のみ午後1時30分～2時30分
- 場所/京都市学校歴史博物館3階講義室 ●対象/入館者70名(要予約)
- 申込/参加月の前月26日(休館日の場合はその翌日)から電話予約

②成人対象の事業

唱歌・童謡教室

- 10月23日(月)～毎週月曜日 午後1時30分～3時30分 *5回連続
- 場所/京都市学校歴史博物館3階講義室 ●対象/成人60名
- 参加料/2100円 ●申込/往復はがき 10月15日(日)必着

③成人対象の事業

明治の女子校体験 京繡(日本判繡)教室

- 木金コース11月23日(祝・木)・24日(金) 午後1時～4時
- 土日コース11月25日(土)・26日(日) 午後1時～4時
- 場所/京都市学校歴史博物館3階講義室 ●対象/成人 両コース30名
- 参加料/約5000円 ●申込/往復はがき 両コースとも11月16日(木)必着

④成人対象の事業

古文書を読む

- 12月1日(金)・8日(金)・15日(金) 午前10時～12時 *毎週金曜日3回連続
- 場所/京都市学校歴史博物館3階講義室 ●対象/成人60名
- 参加料/1500円 ●申込/往復はがき 11月20日(月)必着

⑤子ども対象の事業

子ども工作教室

- 日時/11月11日(土) 午後1時30分～3時30分
- 場所/京都市学校歴史博物館3階講義室 ●対象/小学生40名
- 参加料/100円 ●申込/往復はがき 10月30日(月)必着

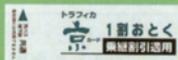
①は電話、②～⑤は往復はがきで受け付けます。
①→(075)344-1305 京都市学校歴史博物館まで
②～⑤→往復はがきに必要事項(住所・氏名・電話番号・講座名)を明記になり、〒600-8044京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437京都市学校歴史博物館までお申し込みください。

学校の宝物がトラフィカ京カードになりました

京都市立学校所蔵の名品が、トラフィカ京カード(京都バス・地下鉄乗車券)のデザインに採用されました。

<6月発行のデザイン：比叡>

<7月発行のデザイン：紫式部>



京都市学校歴史博物館
所蔵品(比叡山)をモチーフにしたデザインを採用
京都市交通局



京都市学校歴史博物館
所蔵品(紫式部)をモチーフにしたデザインを採用
京都市交通局

<9月発行のデザイン：大原女>

<12月発行のデザイン：梅に雀>

<3月発行のデザイン：桃の花>

バス、地下鉄とも全車両、全路線でご利用いただけます。また地下鉄の改札にはカードで直接通れます。カードに使用期限はありません。

発売額 1,000円(利用額1,100円)
3,000円(利用額3,300円)

発売場所 地下鉄駅券売機、市バス・地下鉄案内所、市バス営業所、地下鉄駅売店

特別展 『こども博物館展』

～ 唐澤富太郎コレクションより ～

開催期間 平成18年 7月21日（金）～ 9月25日（月）

東京都練馬区にあります唐澤博物館は、膨大な教育資料のコレクションで有名な私設の博物館です。創設者である教育学の大家、故・唐澤富太郎博士は、古いものを惜しげもなく捨てる高度成長期に、日本全国から多数の資料を自宅に設けた博物館に収蔵し、実物による教育史を貫かれました。

この度、ご遺族の協力のもと多彩なコレクションのなかから特に博士が児童の生活教育史という立場で研究されたものを中心に選び、展示いたしました。江戸期の寺子屋関係資料、明治から昭和にかけての遊びの資料、懐かしいおもちゃ類など、3世代の家族それぞれが楽しめる構成



にいたしました。実際に会場では、展示品に現れた子どもたちが交わって学び、交わって遊んでいる姿をご覧になって、思い出したご自身の子ども時代を、家族に話されている場面によく遭遇いたしました。

体験コーナーでは、大正期のすごろくや、お手玉、めんこなどを家族で楽しまれ、滞在時間の長い展覧会となりました。

この特別展が、かつての日本の子どもの姿を再発見していただける場となり、これからの教育や子育て、さらに日本の児童文化を考えていただけるきっかけとなれば幸いと思っております。



昔の学校あれこれ

第七回

初めて教科書を手にとった時のことを覚えていらっしゃいますか？

明治のはじめ、日本の近代教育制度の始まりとともに新しい教科書が生まれおよそ130年がたちました。移りゆく歴史の中でその時々々の転換期には、教科書もその時代にあわせて変容してきました。写真は、昭和15年(1940年)歴史科目の教科書を開く元・龍池小学校の児童たちです。戦前の小学校のクラスは、男組・女組に分かれ男女別々に授業を受けていました。この当時使われていた教科書は、国定教科書の第4期にあたります。明治36年「小学校の教科書は、文部省において著作権を有するもの足るべし」と国が規定し、日本のすべての子ども達が習った教科書です。その後、昭和20年までの間、改定もあり第5期まで変遷をたどりしました。

教科書は、日本の教育の流れを具体的に物語る資料であるとともに、その時代に想いをめぐらせる独特の魅力があります。

「教科書」



京都市学校歴史博物館

京都市下京区御幸町通仏光寺下る横町437 (元開智小学校)
〒600-8044

- 入館料/大人200円 子ども(高校生以下)100円
(20名以上の団体/大人160円 子ども80円)
※京都市内の小・中学生は土・日は無料
- 開館時間/9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日/水曜日(休日の場合は夏日)
12月28日～1月4日



交通 ACCESS

- 阪急電車/「河原町」駅下車 南西へ歩5分
- 地下鉄/烏丸線「四条」駅下車 南口改札東へ歩10分
- 市バス/「四条河原町」バス停下車 河原町通より西へ二丁目(御幸町通)より南へ歩5分